

潤水都市 さがみはら NEWS LETTER

Vol. 11 [2013年1月号]

こんにちは、神奈川県相模原市のシティセールス推進課です。

2月22日(金)の京王線ダイヤ改正により、新宿までの所要時間が41分に短縮(橋本-新宿間)され、益々便利さが増す相模原市。

そして、3月にはついに圏央道が開通。

第11号となる本ニュースレターでは、生まれ変わる“新しい相模原の顔”をご紹介します。

光が丘エコタウン (イメージ)
市内に128戸のエコタウンが誕生します。大和ハウス工業が神奈川県内で初めて取組む住・商一体型のスマートコミュニティ!!



THIS MONTH'S LINE UP

1 & 2

住宅ローン減税も後押し!! 建設ラッシュ続く相模原市のどうして?

ブランド総合研究所が発表した地域ブランド調査で居注意欲度ランキングが11年から12年にかけて100位以上上昇した相模原市。2013年以降も市内では大手不動産会社の大規模開発が目白押し。人気を集める3つの秘密を特集します。

- ◆ 居注意欲度の伸び 1位の墨田区に次いで、「2位が相模原市」のどうして?にせまる
- ◆ えっ、新・田園都市生活はじまる? 淵野辺で1,000世帯超の住宅開発
- ◆ 注目のスマートシティも誕生。これからの住まいのカタチとは?

3

おいしい! たのしい! さがみはら!

- ・180店舗が集結する「bono相模大野」。3月15日(金)まちびらき!
- ・橋本-新宿間41分 2月22日京王線ダイヤ改正

4

イベントカレンダー & トピックス

- ・圏央道「相模原愛川IC」が3月OPEN
- ・国内最大級の物流倉庫「ロジポート相模原」誕生
- ・日本最大級の住宅展示場会社と相模原市のコラボ企画続々

5

さがみはらMAP

住宅ローン減税も後押し 建設ラッシュ続く相模原市のどうして？

ブランド総合研究所が発表した地域ブランド調査で居留意欲度ランキングが11年から12年にかけて100位以上上昇した相模原市。2013年以降も市内では大手不動産会社の大規模開発が目白押し。人気を集める3つの秘密を特集します。

居留意欲度の伸び 1位の墨田区に次いで、 「2位が相模原市」のどうして？にせまる

ブランド総合研究所 地域ブランド調査 2012
居留意欲度ランキングより

		12年	11年	差
1	墨田区	10.3	7.3	3
2	相模原市	7.4	5	2.4
3	厚木市	8.4	6.4	2
4	千代市	7.6	5.9	1.7
5	文京区	11.7	10.1	1.6
6	鹿野島市	7.3	5.7	1.6
7	静岡市	8.3	6.8	1.5
8	札幌市	21.1	19.7	1.4
9	金沢市	13.5	12.2	1.3
10	中野区	10.3	9	1.3

ブランド総合研究所が発表した2012年の地域ブランド調査の結果によると、相模原市の居留意欲度は全国1,000の市区町村の中で72位と昨年の178位より大きく躍進しました。伸びポイントだけをみると、墨田区に次ぐ全国2位。スカイツリーの完成で大きく沸いた墨田区に対し、相模原市はなぜそこまで“居留意欲度”が伸びたのでしょうか？

東日本大震災以降、住居を選ぶ上で重視する点として、84%の人が挙げたのが“地盤の強さ”でした。（野村不動産アーバンネット(株)ニュースリリース）相模原市は各種データ等によると“地盤が強い”と言われる地域で、市では昨年の防災の日に、相模大野駅西側地区にタワーマンションと商業施設を建設中の「野村不動産」やボーリング調査会社「東京ソイルリサーチ」の協力を得て、地盤ツアーを開催し、市内外の方に改めて住まい選びの際に重要な要素の一つは地盤の強さということを再認識いただきました。また、圏央道「相模原愛川IC」の完成による交通アクセスの向上も“住む”という点で多くの方に注目をいただいている要因ではないでしょうか。

えっ、新・田園都市生活はじまる？ 淵野辺で1,000世帯超の住宅開発

大手不動産会社の大型物件の建設が進む「淵野辺駅（JR 横浜線）」は横浜、新宿、渋谷へのアクセスは40分以内（※1）、徒歩圏内には東京ドーム約3.7個分の広さを持つ「鹿沼公園」、幅広い診療科目を備えた「淵野辺総合病院」や「市立図書館」など、生活利便施設も充実。JAXA 相模原キャンパスがあることから宇宙の街として、“はやぶさガルメ”等で大きな話題を呼びました。また、青山学院大学や、麻布大学などが立地し、学生の活気に溢れた街でもあります。そんな街で販売中の各物件が発するメッセージから、今の家選びのポイントが見えてくるような気がします。※1：日中平常時。乗換、待ち時間含まず。



■淵野辺駅周辺に建設中の主な物件

		販売開始	入居時期	販売戸数	アクセス
長谷エコーポレーション	ブリージアテラス淵野辺		2013年9月下旬	220戸	淵野辺駅9分
野村不動産	ブラウドシティ淵野辺		2014年2月下旬	340戸	淵野辺駅7分
東急不動産	ブランズシティ淵野辺ガーデンズ ブランズシティ淵野辺レジデンス	2013年2月 2013年3月	2013年3月下旬 2014年3月下旬	61戸（戸建て） 254戸	淵野辺駅9分 矢部駅3分
大和ハウス工業	光が丘エコタウン（仮）	2013年春		128戸	淵野辺駅バス10分

■各社が発信するメッセージ

東急不動産



野村不動産



昨今の住宅事情をリサーチするために、不動産会社各社様にお話を伺ってきました。（大和ハウス工業様では、あのダイワマンにもお会いしてきました！）大手不動産会社ということもあり、しっかりとした分析のもと、メッセージの一つひとつに世の中のニーズが込められているという印象を受けました。そこで、私たちがコピーをひとつ…

日常の中に幸せを。日々の暮らしが輝く家選び！

128 区画のエコタウン誕生。 これからの住まいのカタチ

JR 横浜線淵野辺駅からバスで 10 分、光が丘小学校前下車徒歩 1 分の約 34,000 ㎡の土地に誕生するエコタウン。128 区画すべての住戸に太陽光発電システムと家庭用リチウムイオン蓄電池、HEMS、EV コンセントを導入するとともに、環境配慮型商業施設の誘致や太陽光発電システムを搭載した集会所を建設する計画が進んでいます。

このような家は昼間に太陽光からつくった電力を蓄電池に蓄えておき、夜間などに使用。さらに、省エネ性能に優れた家電をネットワークでつなぎ、自動コントロールによって消費電力を制御。自ら電力をつくり効率よく生活に使用することで、100%の電力自給自足を目指します。また蓄電池にもなる電気自動車は、ガソリン代がかからないことはもちろん、CO2 も排出しません。暮らす人々の快適性と地球の未来、その両方を考えてくれる賢い家はスマートハウスと呼ばれ、低炭素社会の実現に向けて、日本でもすでに導入に向けた動きが加速しています。

大和ハウス工業が神奈川県内で初めて取組む
住・商一体型のスマートコミュニティ



約 34,000 ㎡の敷地に住宅 128 戸を建設する計画（売主：大和ハウス工業／販売開始：2013 年春頃予定）



全国でも珍しい“全戸”蓄電池装備 「i Pad」で電力チェックも

太陽光発電システムで電気を「つくる」、蓄電池で「蓄える」、消費電力を目で見えてコントロールしながら「上手に使う」。電気の自給自足を目指す「スマ・エコハウス」が、これからの住まいのスタンダードとなりそうです。

光が丘エコタウンは全国でも珍しい全戸に“蓄電池”“充電プラグ”を備える、まさに最先端のスマートコミュニティ!!2013 年春以降はモデルハウスも完成予定です。ぜひ“光が丘エコタウン”にご注目を!

スマートハウスではこんな設備と暮らします♪

◆家庭用リチウムイオン蓄電池

鉛蓄電池やニッケル水素蓄電池と比べて、長寿命で充放電効率が高い。太陽光発電システムなどの創エネルギー設備と家庭用リチウムイオン蓄電池を組み合わせることにより、家庭内で「創る→蓄える→使う」というエネルギーサイクルが可能となります。あわせて、原油価格の高騰などエネルギー価格の変動による家計への影響を低減し、自然災害や停電などの有事の際には、ライフラインに依存しない「万一の時も安心な電力源」としても期待できます。



※画像はイメージです。

◆HEMS

「HEMS（へムス）」はハウスエネルギーマネージメントシステムの略。家電などの電力消費を機器がチェックし、自動や手動でコントロールできるようにするシステムのことです。

家庭内のエネルギー使用情報や電力情報等を収集することにより、家庭内で消費される電力が一目で確認できます。iPad を使用しているので、家族みんなで自分たちの使うエネルギーに関する点も魅力的です。



D-HEMS のイメージ
（資料：大和ハウス工業）

◆EV（電気自動車）充電プラグ

電気自動車は走行中の排出ガスはゼロ。CO2 はもちろん、窒素酸化物も一切出しません。プラグイン電気自動車は、家庭用のコンセントで充電ができるため、ガソリン代を節約できます。日産の HP ではひと月に 1,000km 走行すると想定した際のガソリン車（燃費 14km/L）と電気自動車の燃料費比較をしており、年間 10 万円程度の差が出るとの一例も示されています。蓄電池としても利用できる電気自動車は、大容量なので、停電や災害時などの非常用電源としても利用することができます。



おいしい！たのしい！さがみはら！

このコーナーでは毎回、さがみはらの美味しいもの・おすすめスポットなどを紹介させていただいています。今回は3月15日（金）に開業する「bono（ボーノ）相模大野」を一足早くご紹介♪約180店舗の大型商業施設の誕生です。一方、橋本駅は京王線のダイヤ改正により新宿へダイレクトアクセスに!!

180店舗が集積する「bono 相模大野」 いよいよ3月15日（金）まちびらき!!

「bono 相模大野」は、約180店舗からなる大型商業施設（野村不動産株式会社が開発・運営する「Shopping Center（ショッピングセンター）」90店舗）と「North Mall（ノースモール）/South Mall（サウスモール）」約90店舗、パスポートセンター／市民・大学交流センター「ユニコムプラザさがみはら」／（財）ヘルス・サイエンス・センター等の公共公益施設、市営駐車場、市営駐輪場、分譲住宅「プライドタワー相模大野」（308戸）賃貸住宅「スカイフラッツ」（120戸）、などからなる大型複合施設です。

また、イベントの開催や人が集い憩える「ボーノ広場」や、大屋根が象徴的なメイン通路「ボーノウォーク」、飲食店街「ボーノ横丁」、ショッピングセンター屋上の庭園空間「Saga-niwa さがにわ」など、多彩な施設を備えています。

相模大野の新たなランドマークとして、既存の駅ビル（小田急相模大野ステーションスクエア）・伊勢丹相模原店とともに駅周辺の3つの核の1つを担います。3月15日～17日は「ボーノ広場」で賑やかなオープニングイベントが行われ、16日（土）にはJAZZイベントなどが盛んな相模大野らしく、日本を代表する世界的ジャズ・トランペット奏者を招き、華やかなライブでまちびらきをお祝いします。



イタリア語で、「すばらしい、おいしい」などの意味を持つ「ボーノ」と「大野」をかけて「bono（ボーノ）」と付けられました。

Pick Up

さがみはらが詰まったアンテナショップ “sagamix”

近年、アンテナショップを特集した書籍が発行されるなど、各地で賑わうアンテナショップですが、bono 相模大野（Shopping Center 2F）にも地元や相模原にゆかりのある食材など約500種を扱うさがみはらアンテナショップ「sagamix（さがみつくす）」が誕生します。

カフェスペースでは、sagamixのために開発された商品もお見えます。市内外の方にお楽しみいただけるアンテナショップをぜひご体感ください。



※画像はイメージです。

市民と大学を繋ぐユニコムプラザさがみはら

bono 相模大野の公共公益施設の一つとして、南棟3階にはユニコムプラザさがみはら（市民・大学交流センター）が、オープンします。大学の高度な専門性や豊富な人材を活用して、市民が様々な分野で地域の課題解決や活性化を図る拠点となります。

3月15日～17日にはオープニングイベントも企画されています。ユニコムプラザから始まる新たな地域・市民活動にご注目ください。



- Floor Image -

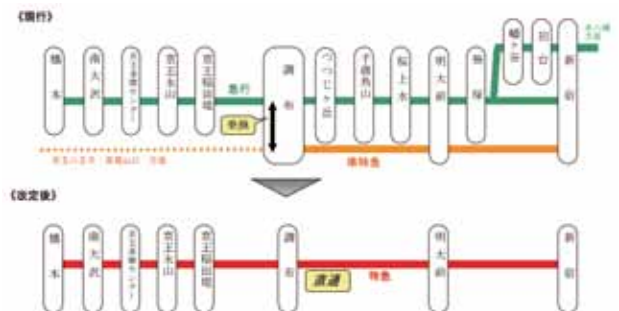
◆お問合せ 市民協働推進課 TEL 042-769-9225

橋本－新宿間 41分 2月22日京王線ダイヤ改正

京王電鉄は2013年2月22日（金）大幅ダイヤ改正を行います。改正に伴い、市内橋本駅から新宿へダイレクトアクセス可能な「特急」が新設されます。これまでは、最短で新宿駅へ到着する場合は、右図のように、「調布駅」での乗換が必要でしたが、ダイレクトに新宿に出られます。

また、平日の早朝にも橋本駅始発の「特急」が1本新設、新宿からの下りの終電時間が平日は10分程度、休日は30分程度繰り下がると、市内から都心への通勤、通学、レジャーがますます便利になります。このような交通アクセスの充実もさがみはらの“住みやすさ”を後押しする要因の一つになっています。

京王相模原線に「特急」が新設され 新宿へダイレクトアクセス



※京王電鉄ニュースリリースより

トピックス

このコーナーではさがみはらのこの時期ならではの“トピックス”をご紹介します。3月の圏央道「相模原愛川インターチェンジ」の完成は今年の特ピックスの中でも最大級！首都圏や東海、関西方面へのアクセスが抜群に向上します。開通イベントも行われますので、ぜひお越しください。

さがみ縦貫道路 「相模原愛川IC」が3月OPEN

圏央道の一部として、神奈川県中央部を南北に走る大動脈『さがみ縦貫道路』の“相模原愛川IC”がいよいよ3月OPENします。南北に走るさがみ縦貫道路は来年度には全線開通予定で、関越自動車道、中央自動車道、東名高速道路を繋ぎ、広域交流拠点として今後の発展が期待されます。その一つの例として下記では新たに誕生する日本最大級の物流拠点を紹介します。

圏央道の開通で！！

企業に選ばれるまち、相模原 国内最大級のマルチテナント型物流施設 「ロジポート相模原」誕生

米系不動産投資会社のラサール不動産投資顧問と大手不動産会社の三菱地所は共同で、約94,000㎡の敷地に東京ドーム4.5個分の広さに相当する延床面積約210,000㎡の国内最大級となる物流施設「ロジポート相模原」を建設中。『ロジポート相模原は圏央道「相模原愛川IC」の完成により、首都圏と西日本の結節点となるだけでなく、首都圏広域をもカバーする戦略的物流拠点となり“進化する物流拠点最適地”として、選ばれた場所とのことです。

圏央道以外にも4車線道路の国道129号線に面し、国道16号線にも約4kmという主要幹線へのアクセスの良さが抜群です。また、「橋本」「相模原」「淵野辺」「上溝」のJR各線各駅とはバス路線で結ばれており、周辺に広大な住宅エリアを擁する雇用環境も揃っているという点は入居企業にとって大きなメリットになることでしょう。

市内では「ロジポート相模原」と共に「(仮称)ロジポート橋本」の建設も決定。アクセスがますます向上する相模原市は企業に選ばれるまち、住む人にも選ばれるまちとして進化を遂げていきます。



交通アクセスだけじゃない！！

『ロジポート相模原』のポイント！！

災害に強い
地盤・地質の相模原

強固な地盤の相模原台地は津波の心配もなく、災害リスクの非常に低い、BCP（事業継続計画）の観点からも注目されるエリアです。

巨大消費
マーケットに隣接

東京・川崎・横浜などの消費マーケットに近く、多様化・高度化する消費ニーズに対応する配送拠点として、サービスの幅を広げます。

雇用環境に優れた
政令指定都市

横浜市・川崎市に次ぐ、神奈川県第3の政令指定都市です。周辺には広大な住宅地を擁しており、至近距離からの豊富な労働力が見込めます。

HP⇒ <http://logi-port.com/sagamihara/index.html>

※画像はイメージです。

日本最大級の住宅展示場会社と 相模原市のコラボ企画続々！！

関東・甲信地区で68ヶ所、モデルハウス出展棟数は928棟（平成25年1月1日現在。業務委託を含む。）を企画・運営する株式会社サンフジ企画の総合住宅展示場で、相模原市のPR企画を実施しています。

2013年1月にスタートした取組みの一部をご紹介します。

宇宙体験広場



宇宙飛行士気分で記念撮影！！
宇宙の街・さがみはらならではの企画。

@相模原住宅公園

松本零士展



リビングで見る松本零士展。
展示場内の全ての住宅に展示しました！！

@相模原住宅公園 & 東名横浜住宅公園

地場野菜の販売



地元農家さんによる野菜直売を開催！！

@相模原住宅公園 & 東名横浜住宅公園

次回予告！！

2月11日（月）は
「さがみの地層ケーキ」
をプレゼント

@相模原住宅公園

相模原の強固の地盤をイメージしたオリジナルケーキです♪



相模原市観光協会ホームページ（いい～さがみはら）もご覧ください。

www.e-sagamihara.com

SAGAMIHARA MAP

ニュースレターでご案内した場所はこちらです

小原宿ライトアップ 3月30日(土) 予定

江戸時代の宿場町の面影を残し、神奈川県下で唯一残されている本陣や街道沿いに、数々の灯りを点し暖かく幻想的な空間を演出します。灯りの街「小原宿」を多くの皆さんに観ていただきたく、当日は地元の人々が暖かくお迎えます。



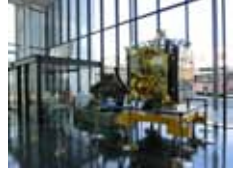
光が丘エコタウン P2

全戸に蓄電池導入のエコタウン

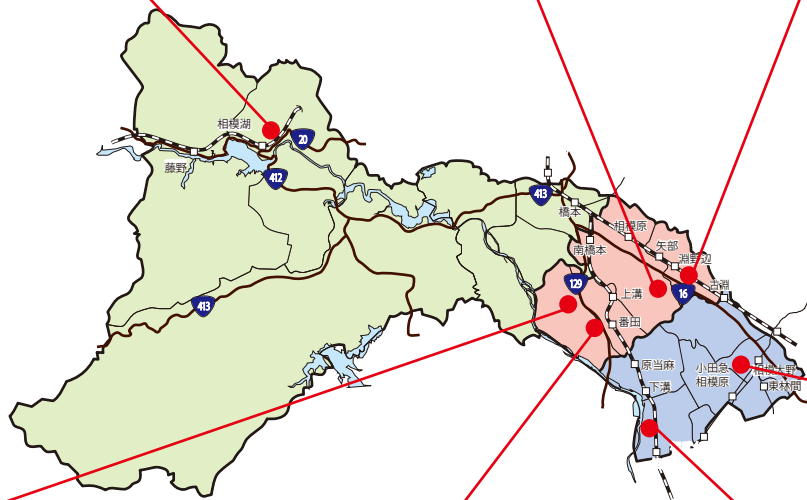


節分に「はやぶさ2」応援 2月3日(日) 予定

JR 横浜線・淵野辺駅前商店街「にこにご星ふちのべ協同組合」(理事長 茅明夫)は、2月3日(日)の節分に桜美林大学プラネット淵野辺キャンパスにて、JAXAの先生による豆まきイベントを開催します。当日は、地域の子供達を招待し、JAXAの教授による「宇宙福豆」まきが行われます。豆はかさ袋ロケットで子供達の元へ届きます。



◆お問合せ 相模湖経済観光課 TEL 042-684-3240



bono 相模大野 P3

遂に念願のまちびらき!



ロジポート相模原 P4

国内最大級の物流倉庫!



圏央道「相模原愛川IC」 P4

首都圏、東海、関西方面へ!



新磯桜まつり 3月31日(日) 予定

桜の開花に合わせて、新磯公民館及びその周辺で行われます。鼓笛隊のパレードを皮切りにお年寄りをご招待しての日本舞踊やフラダンス等の演芸、作品の展示があり、広場には焼き鳥等の店が並びます。沿道では各地域のお囃子の披露があり、最後は「踊りパレード」で締めくくられます。小さいお子さんからお年寄りまで楽しめる、楽しいおまつりです。



◆お問合せ 新磯観光協会(新磯まちづくりセンター内) TEL: 046-251-0014

編集後記

こんにちは、シティセールス推進課の小堀です。今年も皆さまに興味を持っていただけるような「さがみはら」を発信していきますのでよろしくお願い申し上げます。今年には市にとって大きなニュースがたくさんありそうです!まずは3月15日の bono 相模大野の開業!アンテナショップ“sagamix”では相模原の名産がたくさん並ぶので、みなさんにもぜひ足を運んでいただき、美味しいさがみはらを体験してください。同じく3月には圏央道“相模原愛川IC”の完成もあり、御殿場や伊豆の方への週末レジャーにも気軽にに行けそうです。都内からのアクセスも向上するので、相模原にお越しいただくのも便利になりそうです。ぜひお待ちしております!

相模原市 総務局 渉外部 シティセールス推進課
担当/小堀 TEL / 042-707-7045 MAIL / pr@city.sagamihara.kanagawa.jp

5